

# 事業評価シート（平成23年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	街路整備事業		
事業担当	土木部 道路整備課		
事業種類	●ハード ○ソフト		
総合計画の位置付け	'05	基本目標5 安全で、みんなが快適に暮らせるまち	
	'03	③(利便性) 誰もが快適に利用できるよう、公共施設などの利便性を高める	
	'03	3 まちの活動に活力をもたらす公共交通の利便性を高める	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託: <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】【協働:		
	目的・目標		事業の概要
街路（都市計画道路）を整備することにより、交通混雑の緩和が図られるとともに、地域の住環境も向上しています。		住環境の向上と交通の円滑化のため、街路を整備します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
活動指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
成果指標①	指標名	街路整備進捗率			単位	%
	説明・算定式	平成26年度までの指数累計に対する当該年度までの指数累計の率。北金目真田線(用地買収40、工事60)、五領ヶ台南線(用地買収50、工事50)(平成22年度から)				
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標		4	13	20	
	実績		4	10		
成果指標②	指標名				単位	
	説明・算定式					
		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
	目標					
	実績					
進捗状況	②: 若干遅れている					
	遅れている理由	買収予定箇所にある施設の補償交渉に時間を要したため				
平成23年度の主な取組と成果						
北金目真田線の物件移転補償を行いました。						
平成23年度の検証結果	B: おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	先の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	周辺地域の幹線道路を相互に連絡し、かつ、地域の骨格を形成する都市計画道路の整備の必要性は高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	都市計画道路を整備することで、周辺地域の交通混雑の緩和が図られ、有効性が高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	住環境の向上と交通の円滑化のため妥当性が高いと考えます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
	効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	幹線道路と幹線道路とが連結されることにより、交通体系の効率性が高まります。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低
今後に向けた課題の分析		都市計画道路の整備は用地買収、物件補償、工事費等相当な費用を要するため、計画的に事業を進める必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成21年度 決算額	平成22年度 決算額	平成23年度 決算額	平成24年度 予算額
事業内容		用地買収・街路整備	用地買収・補償	用地買収・補償	用地買収・補償
財源内訳	国庫支出金	7,150	3,135	25,300	12,650
	県支出金	0	0	0	0
	起債	0	0	28,000	55,000
	その他 特財	2,783	99,987	31,080	0
	一般財源	53,975	735	1,860	7,350
事業費 (A)		63,908	103,857	86,240	75,000
執行率 (%)		30.88	47.40	42.35	
内訳	職員 (人)	0.85	0.85	0.65	0.60
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		7,103	7,021	5,268	4,809
フルコスト (A+B)		71,011	110,878	91,508	79,809

## 4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成25年度の取組方針	交通渋滞の緩和や住環境の向上のため、引き続き街路整備の推進に取り組みます。
課長コメント	街路(都市計画道路)を整備することにより、交通混雑の緩和を図り、地域の住環境の向上を目指します。